

令和5年度 大阪府立港南造形高等学校

第3回 学校運営協議会 議事録

開催日時	令和6年3月4日(月) 15:00~16:30
開催場所	本校 本館1階 ガイダンスルーム
出席者(委員)	美濃 幸男 会長、文野 忍 委員、寺田 摩弥 委員、宮原 康 委員
出席者(学校)	校長、教頭、事務長、首席(人権教育推進委員長)、教務部長、生徒指導部長、進路指導部長、総務部長、養護教諭、造形科長、第1学年主任、第2学年主任、第3学年主任 合計13名
傍聴者	なし
意見書	なし
協議会資料	令和5年度 学校教育自己診断 結果 令和5年度 学校経営計画及び学校評価 令和6年度 学校経営計画(案) 学校令和5年度 本校教育活動進捗状況 各分掌・委員会・学年報告資料
備考	なし
議題等	1 開会の挨拶 2 委員紹介 3 学校より報告 4 協議 5 閉会のあいさつ

議事内容・承認事項等(意見の概要)

- 1 開会の挨拶(校長)
  - ・本日は、今年度総括であり、また来年度に向けての方針を確認させていただきたく思っております。どうかよろしく願いいたします。
- 2 委員紹介(教頭)
  - 本日配付資料について説明
- 3 学校より報告
  - (1)「令和5年度 学校経営計画評価」説明(校長)
    - 本年度も、学校経営計画に沿って「美術工芸デザイン教育の一層の充実を図り、その発展に貢献する専門高校」をめざし、努力してきた。本年度の評価指標も、主に「学校教育自己診断」の肯定的回答の割合をもとに考察した内容です。
    - 本年度は、コロナ明けの学校行事の完全復活、キャリア教育、大阪の美術教育振興、地域連携の充実などを中心に取り組んできた。
    - 本年度達成できなかった内容について。
      - 1 「1年生で実施する外部テストの結果について、1回目に比べ2回目の到達ゾーンを下げないようにする。[国数英計]」では、中3の入試前は一生懸命勉強していた生徒たちもいざ入学したら途端に勉強しなくなるという状況を踏まえ、日ごろから家庭学習について学校側から指導をしているところですが、学期初めに同じレベルの実力テストを受けさせたところ、下がっていることが判明。これは本校の家庭学習に対する生徒への指導目標でもあるため、次年度に向けて何らかの対策を講じる必要がある。
      - 2 「画材業者による材料に関する講座を実施する。」という計画であったものが実施できなかった。例年、絵具の種別のお話など専門的なこととお話する機会を設けていた。来年度は計画的に実施したい。
      - 3 「働き方改革」で、長時間勤務を抑制しなければならないが、熱心な教材研究と熱

意ある部活動指導で「定時退庁日」、「ノークラブディ」が徹底できず数名の先生方に産業医面談を実施する結果となった。本校では、昨年度に比べて14%勤務時間が増加。コロナが収まり、部活動や行事で仕事が増えてきたことも要因の一つと考えられる。来年度も教職員の熱意を大切にしながら働き方改革に取り組んでいきたい。

4 センター校としての役割は、生徒の発表の場、HP 等での情報提供、小中学校教員研修の実施、全国美術系大学・短大合同説明会の実施、大塚国際美術館芸術鑑賞、海外研修等についてはやり遂げた。令和8年度全国大会に向けてあまり動けていないが、次年度より内容を詰めていきたい。

(1) 「令和6年度 学校経営計画」説明 (校長)

1 「創立40周年」について

式典、祝賀会は行わない。在校生、卒業生、関係者に還元できる取組みを実施していきたい。

今年度から実行委員会を立ち上げ、骨子は整っている。主なものとして、

- ・この10年間を振り返る記念誌の発行
- ・卒業生、旧職員に呼びかけ、記念展の開催 (10/27~11/2)
- ・塩田千春さんをお呼びし、記念講演
- ・エアコン設置など教育環境整備 等

2 ICTを授業について

日常的に活用できるよう、また生徒が主体的に「考える」授業を展開することを目標に「学力・授業力向上委員会」を立ち上げる。この委員会を中心に授業公開を促進し、教科の垣根を超えた授業実践研究の促進と教科横断的教育、課題解決型活動の実践 (いわゆるSTEAM教育) を試みたい。

3 「さくら連絡網」について

最近配付した文書が保護者に渡っていないことがPTAの皆さんの話から分かってきた。保護者への情報提供や緊急時の対応に備えた「さくら連絡網」の導入し、文書の電子化などを実施する。これは、ペーパーレス化や働き方改革にもつながります。(一斉送信により業務の簡略化)

- ・本年度、海外研修旅行は1月4日に日本を出発、11日、生徒26名、教員2名が無事イタリアから帰国。研修に参加した生徒は実物の芸術作品に出会い充実した経験できた。来年度は、台湾の予定。
- ・本校に4月に立ち上がった「動物研究同好会」が第1回ネイチャー甲子園の決勝大会に出場し、みごと「優秀賞」を勝ち取りました。5分間の映像、後ほどご覧いただきます。

「版画部」がこれまた「版画甲子園」の本戦に出場が決定。大会は3月17日から20日まで新潟の佐渡島で行われる。令和2年度の大賞に続いて良い結果を残してもらいたいと期待しております。

(2) 各部・科より報告

■教務部

①年間行事予定について②新教育課程について③令和6年度教科書選定について

■生徒指導部

①補導、懲戒について②遅刻指導について③生徒被害（痴漢、盗難）について  
④身だしなみ指導について⑤ロッカー整理の指導について

■進路指導部

①19期生の進路状況②20期生③21期生④その他

■保健部

①感染対策について②各種検診・講習会について③避難訓練について  
④校内各種検査について

■総務部

①学校広報活動②生徒会③在学奨学金④蒼風会

■庶務・PTA

①PTA活動について②その他 次年度に向けて

■人権推進委員会

①人権教育について②教員対象の人権研修について

■造形科

①造形科の活動について

■第1学年

①在籍者数②総括③修学旅行について（R6.10月）

■第2学年

①在籍者数②学年の取り組みについて

■第3学年

①在籍者数②進路指導について③学校生活について

4 協議（議長 美濃委員）

（委員）

- ・1年間お疲れさまでした。3年生全員が卒業できることをうれしく思います。
- ・クラブ活動が熱心で、いろいろ結果を出せている。  
「動物研究同好会」が第1回ネイチャー甲子園の映像は衝撃的すぎる。
- ・15期生の方が「紙切り」でテレビ放映で紹介されているのを拝見した。
- ・高校でいろいろな経験をさせていただいて充実している。自分で自分の先を見極められることに繋がればよいのではないかと。

（委員）

- ・いろいろな活動で生徒たちが自分たちのことを十分発信できている。いい経験になっているのではないかと。
- ・「命の大切さ」を人権学習の中で取り上げていただけてありがたい。
- ・先生方が大変忙しそうに感じ、仕事の時間も増加されているところが心配です。
- ・ICTの取り組み、最初はいろいろ大変でなかなか進まないこともあるかと思いますがよろしくお願いいたします。

（委員）

- ・ネット上の誹謗中傷がすごく気になる。ある程度、意識的に軽くやってしまうことがあるが、根強くモラルを丁寧に教えていくことをやらないとひどくなる。
- ・学校経営計画について、計画は何年間のスパンで続けないと成果も見えない子どもたちの到達面も見えなくなる。

（委員）

- ・男子学生が少ないのは年々減少しているのでしょうか。

（校長）

- ・美術系は大学でも女子学生が多い。ここ2年間、本校は倍率が高く、結果男子学生が17%前後。

- ・2年前生徒全員に1台端末を導入。来年度はすべての学校に電子黒板を導入。入試に関してはデジタル採点、志願者受付をインターネット受付導入。大阪府は他府県に比べICTについては進んでいる。

(委員)

- ・造形専門の学校なのでたぶん一般的な高校より運営に手間がかかると想像します。そんな中、学科と造形の勉強以外にも地域行事参加や展覧会参加、人権学習……と充実の教育内容。造形教育者の育成など広く社会に貢献する活動もしておられます。わたし達としてはとてもありがたいし期待もしてしまいますが、多忙から不健康になる先生がおられるとしたら本末転倒です。人を増やすことができないなら、行事や部活を減らしてでも先生方の健康に重点を置くべきじゃないかと思いました。先生方のご健康があってこそ生徒たちがすくすく育つのでは？
- ・時間管理、身だしなみ、整理整頓、社会のルールなどは家庭で教育するよう呼びかけられては？ずっと学校頼みだった家庭には今更難しいかもですが、高校はもともと義務教育じゃありません。子どもを高校に入れるなら親もそれなりの覚悟をしないと。先生がこんなことに心を砕かれるのはもったいなすぎます。…いろいろな家庭があるからめちゃくちゃになるのでしょうか？
- ・入学後家庭学習をしなくなるということですが、なんで勉強するのかを何回もしつこくご説明なさった方がいいのではないのでしょうか。勉強嫌いはクリエイターとしての今後にかかわってきます！全ては積み重ねだから裾野が広いほどいいって言いますよね。勉強する事は裾野を作る事ですし、柔らかい時に広めに作った方が効率いいし。国語・数学・理科・社会という基本の勉強をしておいたほうがいいです。公式やら年号やら単語やら文法を知るという直接的なことだけではなく、授業中に先生の「話をきいて」「理解する」ことが大事だと思います。そのとき理解できなかつたら後で質問や復習して。アイデアの種だっていっぱい隠れていると思います。裾野になにもなかったら（または狭かったら）多方面からアプローチして制作することができません。作品が薄くなるし、アイデアはすぐに枯れてしまいます。デザイナーやイラストレーターの仕事はクライアントの話聞いて理解することで成立します。なによりこれから見たこともない新しいタイプの表現や職業を生み出す人たちなんだから、裾野は広くしっかり作っておいてほしいです。片付けができないと、仕事がぐだぐだになります。ガラスや立体、陶器、版画など機材を使っての制作は片付けながらじゃないと危険が伴うのでは？実際の身の回りだけじゃなくて、データだって整理して保存する必要があります。制作するときは整理整頓が必要です。時間を守らない、服装が乱れている、ぜんぶ信用にかかわってきます。信用がないと仕事（制作）が続けられない。子どもの頃から親や先生にいられていることって、制作を続けるために大事なことです。
- ・ネイチャー甲子園の動画YouTube で拝見しました。自主的にこんな活動ができるのはすばらしいです。

## 6 閉会のあいさつ

(校長)